

名古屋市SDGs推進プラットフォーム交流会（第3回）開催報告

令和5年2月7日、ナゴヤイノベーションズガレージにて名古屋市SDGs推進プラットフォームの第3回交流会が開催されました。当日は、31団体にお集まりいただき、小グループに分かれて自身の取組や今後取り組みたいことなどについてディスカッションを行いました。課題の解決に向け、連携できそうな団体を見つけるために各自が提供できるリソースやアイデアを出し合い、活発な意見交換の場となりました。

●プラットフォームについて 名古屋市

当プラットフォームは現在約480団体（申請中含む）に会員登録していただいている。今回の交流会を通じて多くの団体との出会いや課題の解決に向けたヒントが得られることを期待している。また、当プラットフォームは情報発信やサポートメニュー、会員向け交流イベントやマッチング支援等、さまざまな機能を有している。すでに会員間の連携事例も複数生まれており、パートナーシップによる課題解決を一層加速させるためにも、当プラットフォームをさらに活用していただきたい。

●SDGsを切り口とした連携について 栗田 恵世氏 / JPコーチ&コンサルティング（株）

SDGsを切り口とした連携を成功させるためには以下の点が大切である。①両者の強みやリソース（資源）が明確になっていること。②達成したいゴールや解決したい課題が共通であること。③ゴールの達成や課題を解決することによる両者のメリットを明確にすること。④期限やアクションプランを具体的に決めること。⑤互いの話をよく聴いたうえで、相手に対して貢献できることを示す「GIVE」の姿勢で臨み、単なる自らの営業とならないように注意すること。以上の点に留意して、SDGs達成に向けともに取り組むパートナー候補を多数見つけてほしい。



●グループディスカッションの様子



●ディスカッション内容の全体共有（敬称略）

▶むすびめワークス×日本旅行

むすびめワークスはエチオピアの支援を行っており、学生など多くの日本人がエチオピアに興味を持ち、実際に訪れて理解を深めてほしいと考えている。旅行会社である日本旅行と連携してスタディツアーを企画できるかもしれないという話をした。

▶名古屋観光コンベンションビューロー×グローバル愛知

名古屋への観光客誘致に苦慮している観光コンベンションビューローと、留学生の就職支援を行うグローバル愛知が連携し、名古屋在住の留学生向け観光ツアーを企画することで、口コミによる海外に対する宣伝効果が期待できるのではないか。また、観光を通して、市内企業等への就職を希望する留学生と企業等との相互理解にもつながるのではないかという話をした。

▶musbun×花王グループカスタマーマーケティング

musbunは市内の大学生が地域共生社会をビジョンに掲げ、2021年に立ち上げた会社で、福祉体験のマッチングや地域交流イベント等に取組んでいる。それに対し、福祉や地域活性化等の面で花王の知見やコンテンツを活かせそうであり、Z世代をターゲットとした取組に協力したいという申し出があった。

▶折兼ホールディングス×トヨタエンタプライズ

折兼は、さとうきびの搾りカスから作ったバガス容器を取り扱っており、容器が土の中で分解される過程を観察する試みを行っている。実験できる場所の用意に苦慮しているため、トヨタエンタプライズが運営・管理を行う施設を活用できないかという話があった。

▶MAC SP×山櫻

MAC SPIは広告代理店であり、得意先からSDGsに関連したオリジナルのノベルティグッズを求められるケースがある。それに対して、紙加工に強みを持つ山櫻から、エシカルな素材を使用したパッケージや包装用紙などを活用した商材開発に協力できるのではないかという提案があった。

